

各戸専用の「宅配×防災」ボックスの詳細

■ 背景

昨今、ネットショッピングが普及する中、コロナ禍による外出自粛も影響し、日常的に宅配サービスを利用する機会が増えています。また、不在による再配達を減らすことは社会的な課題となっています。さらに、マンションに設置された共用宅配ボックスから重い荷物や複数の荷物を住戸まで運ぶ手間をなくしたい、非対面で手軽に受け取りたいなど、よりスムーズで快適な宅配利用が求められています。そこで、玄関付近に各戸専用の宅配ボックスを設置し、運用は提携した配送会社とすることでセキュリティ性を向上しつつ、再配達の発生を抑えるとともに、居住者の宅配に関するストレスが軽減される商品を開発いたしました。

また、地震以外にも台風や豪雨などにより、各地で大きな被害が発生しており、災害に備える意識が高まる中、コロナ禍の感染対策などの観点から、建物が安全であることを前提に「在宅避難」という選択肢を推奨する自治体が増えています。しかし、被災時にライフラインが絶たれた状態で過ごすための備えを、限られた居住スペースに確保するのは困難です。そこで、玄関横に防災備品を収納できる専用スペースを設けることで、居住スペースを圧迫することなく、災害時の在宅避難のニーズに対応いたしました。各戸専用のスペースとなっているため、各ご家庭に合わせた防災備品を収納していただけます。



【イメージイラスト】

■ ボックスの仕様

宅配スペースは、幅約50cm、高さ約160cm、奥行約40cmと大型サイズで、可動棚2段を設置しており、届く荷物のサイズに合わせて調整が可能です。棚板を外せば、ゴルフバッグなどの荷物もお受け取りいただけます。扉は、(株)豊明の独自技術により枠を極力なくしたスッキリとした形状とし、扉が開いている間はブザーが鳴る仕組みで、閉め忘れを防止します。

上部にはアクリルパネルでカバーした防災備品収納スペースを設け、万が一の災害に備えます。住戸引渡し時には各ご家庭に1つずつ防災袋を標準設置いたします。



【電池式テンキーロック】

【解錠前】

【解錠後】

【防災備品収納スペース】

■ 荷物の預け入れ・受け取り方法

新築分譲マンションでは関西初となる(株)シブタニ製の電池式テンキーロックを採用した宅配ボックスで、住戸キーと連携しており、居住者は別途専用鍵を管理する必要はありません。荷物の配達時、来訪した配達員に遠隔で対応する必要などもなく、荷物を預け入れていただけます。

事前に登録した提携配送会社の配達員は、居住者が不在もしくは非接触での受け取りを希望された場合に、共用エントランスで配達先のワンタイムパスコードを取得でき、玄関横の宅配ボックスのテンキーにパスコードを入力することで扉を解錠し荷物を預けます。パスコードは入力後リセットされるほか、提携配送会社での運用とすることで、セキュリティ性が向上し、ボックスのスペースさえあれば複数の荷物を預け入れできます。配送会社側としても物件に対応したカードキーなど物理的な鍵の管理が不要になり、紛失などの恐れがなくなります。居住者は、住戸キーをかざすだけで扉を解錠し、簡単に受け取り・取り出しができます。

※提携配送会社は物件毎に異なります。

配達フロー

【不在時・非接触受け取りを希望された場合】

- ① 共用エントランスで配達先のパスコードを取得
- ② 共用エントランス解錠
- ③ 玄関横宅配ボックスをパスコードで解錠し、荷物を預ける



居住者フロー

【受け取り時】

住戸キーをかざす、もしくは鍵穴を回して解錠し、荷物を受け取る

